

## 横浜市自転車総合計画を策定しました

みんなの愛称は  
「快適サイクルプラン横浜」



自転車は手軽で便利な乗り物として、また健康的で環境にもやさしい乗り物としてニーズが高まっていますが、一方で、交通ルールや利用マナーの遵守が大きな課題となっています。

そこで横浜市では、“自転車を正しく使ってみんなが快適に過ごせるまち”を目指して「横浜市自転車総合計画」を策定しました。



### 1 計画のポイント（テーマごとの主な施策）

#### まもる

市内での自転車利用の規範となる決めごとを明確化します。その上で、分かりやすく、体系的に示すツールの作成や、学べる場、教える人材の拡充を進めるとともに、ルールの見える化等により自然と遵守できるまちづくりを進めます。

守るべき  
【利用ルール】  
が明確なこと



生涯通じて  
【学べる場】  
があること



当たり前  
【守れる環境】  
にあること



【教える人材】  
がいて  
【教えるツール】  
があること



#### はしる

自転車は「車両」であることを前提とし、国等の動向を踏まえ、自転車通行環境整備指針(仮称)を策定します。また、駅周辺など自転車が集まる場所を「重点エリア」と指定してエリアごとに「実行計画」を策定し、自転車通行空間の面的な整備を進めます。



#### とめる

駐輪場の「量」を確保し「質」を高める施策として、附置義務制度の検討、路上等の活用、料金制度の改定検討等を進めます。また、放置自転車が特に多い駅を優先対応駅と位置づけ、駅ごとの駐輪特性に応じた対策を進めます。



#### いかす

自転車施策を推進するにふさわしい体制を構築し、利用を促進するための様々な情報提供の充実、制度・施設の見直しや、まちづくりと連動した取組みを進めます。また、公共交通と上手に使い分けができる取組を進め、まちに合った自転車利用ができる環境を整えます。



自転車保険の加入推奨に向けた周知・啓発



通行空間や駐輪場の情報提供

## 2 計画の概要

### 1 計画の期間

平成 28 年度から平成 37 年度までの概ね 10 年間

※ 自転車を取り巻く環境は近年大きく変化していることから、概ね5年後をめどに見直しを検討します。

### 2 計画の構成

- (1) 計画に関する基本事項
- (2) 自転車を取り巻く社会の動き
- (3) 自転車総合計画が目指す姿
- (4) 施策の方向性と具体化に向けた考え方
- (5) スケジュール

## 3 「自転車適正利用キャンペーン」について

### 1 概要

自転車総合計画への関心を高めるため、「自転車適正利用キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンの一環として自転車総合計画の愛称を募集しました。

応募作品から大賞を選定し、大賞受賞者以外の方から抽選により協力企業賞の当選者を決定しました。

**賞品** 大賞：商品券5万円分（愛称に選ばれた方1名）

協力企業賞：

自転車（1名）、骨伝導ワイヤレスヘッドホン（10名）、商品券3千円分（10名）、自転車用メッセンジャートートバッグ（1名）、自転車用ヘルメット（子ども用）（3名）、ベイバイク30くりパス引換券（5名）、自転車用チャイルドシート（前用）（5名）、サイクリングアームバンド（20名）、反射キャラクターストラップ（30名）

### 2 大賞

応募件数 265 件のうちから、平成 28 年 5 月 26 日開催の「横浜市自転車等施策検討協議会」でのご意見を踏まえ、「快適サイクルプラン横浜」を選定しました。

これに「一人ひとりの市民の皆さまとともに進めていく」という願いを込めて、“みんなの”を付けた愛称としました。

**愛称：みんなの「快適サイクルプラン横浜」**

大賞受賞者は、西区在住の丹羽剛さん（写真左）

《受賞者コメント》

「まさか自分が大賞を取るとは思っていませんでした。うれしいです。スポーツタイプの自転車で走っていますが、自転車通行空間の整備に期待しつつルールを守って、自転車ライフを楽しみたいと思います。」



丹羽さんと大賞賞品を渡す中島泰雄道路局長

### 3 募集期間

平成 28 年 2 月 1 日（月）から平成 28 年 3 月 4 日（金）まで

※自転車総合計画の市民意見募集（パブリックコメント実施）にあわせて募集しました。

### お問合せ先

道路局交通安全・自転車政策課長 中山 昭 Tel 045-671-2775